

平成22年度学校関係者評価自己評価書

○番号は、重点項目

学校経営ビジョン	重点目標	番号	ゴールイメージ	自己評価		自己評価コメント
				教師	児童	
れた生命 人間と 性人権 豊かな 児童を の学校 経営を 目指し 信頼、 される 職員一 校体と なるに 努める 。徳・ 体の調 和のと	学習内容の定着を図る学習指導の充実	1	分かりやすい授業	教師	3.0	基礎・基本の習得を確実にし、分かる授業の実践に努めている。
				児童	3.5	
				保護者	3.2	
		教師	3.1	表現活動(書く活動や話し合う活動)を取り入れた授業を心がけ、児童の思考力・表現力の向上を重視している。		
	児童	3.4				
	保護者	3.1				
	3	学習習慣の定着している授業	教師	3.0	良い姿勢で授業に臨み、自分の考えをはっきり伝えられるよう言葉かけを行っている。	
			児童	3.1		
	4	家庭学習の充実及び啓発	教師	3.0	家庭学習の取組の個人差が大きい。効果的な家庭学習の方法や内容を知らせ、称賛しながら日々の家庭学習に取り組ませたい。	
			児童	3.3		
	5	家庭・地域と連携した活動の充実	教師	2.5	子ども会の行事や放課後子ども教室の行事への参加を積極的に行っていく。	
			児童	3.2		
			保護者	2.9		
6	気持ちのよいあいさつ	教師	2.6	学校では、明るいあいさつができるが、登校中や地域での気持ちのよいあいさつが十分でない。		
		児童	3.5			
		保護者	3.1			
		教師	3.0		服装等のみだれは、あまり見られないが、名札を忘れてくる児童が固定化している。継続指導が必要である。	
児童	3.4					
保護者	3.2					
8	「とむすじあ」のきまりを守った清掃活動	教師	3.1	月に1度のピカピカ週間が定着し、無言清掃がよくなるようになっている。		
		児童	3.5			
		保護者	3.0			
9	教師と児童の信頼しあえる関係	教師	3.1	児童と教師のコミュニケーションは、大方とれている。今後も、保護者との信頼関係を保ちながら児童理解にあたりたい。		
		児童	3.3			
		保護者	3.0			
10	健康に留意した学校や家庭生活	教師	3.1	風邪やインフルエンザの予防のため、うがい・手洗いの励行を常々呼びかけ、家庭にも啓発している。		
		児童	3.6			
		保護者	3.3			
		教師	3.1		全児童実施の体力テストを分析・考察し、体力向上プランを作成し児童の体力向上に努めている。	
児童	3.5					
保護者	3.1					
12	マナーを守った給食や食事	教師	2.8	配膳や食事の仕方の指導を行っているが、好き嫌いへの対応が難しい。		
		児童	3.5			
13	安全を意識した行動	教師	2.9	特に登下校時のけがが多く、下校指導や現場での指導を今後も徹底していきたい。		
		児童	3.7			
		保護者	3.1			
【総評】						